



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

布団類の回収・処分の状況について
(令和2年3月)

質問

布団類の個別回収が実施されたが、対象者枠が狭いとの声があった。対象者枠を広げるべきではないか。

高齢者対策として

(令和3年12月)

町民が特殊詐欺の被害にあい悩むことが無いよう、特殊詐欺防止機能付き電話機の購入に補助ができないか。

今後の事業化を検討する

答弁

ゴミ出し支援に特別交付税の措置があると聞いている。

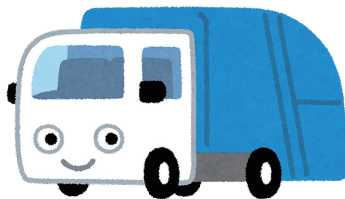
近隣市町村の動向を踏まえて検討する

街頭キャンペーン等の啓発活動や、防災無線放送による注意喚起の呼びかけを行っている。

現在の状況は、こうなっています

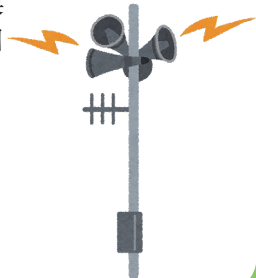
年1回、布団類の個別回収を実施する

今年度より、年に1回高齢者等を対象に、布団類の個別回収の実施を予定している。



防災無線放送で対応

年3回行っていた注意喚起を呼びかける放送の回数を増やす予定。



編集後記

アップル(コンピュータ)の創設者であるスティーブ・ジョブズによるスタンフォード大学の卒業式での演説は、中学、高校生でもわかる易しい言葉で行われ、しかも感動的なものだったそうです。

ところが日本では、新聞、雑誌、テレビなどで「SDGs」「DX(デジタルトランスフォーメーション)」「ヤングケアラー」など、カタカナ英語やローマ字英語がよく使われています。

広報委員として、日本語に誇りを持ち、易しい言葉で、お年寄りから子供まで町民の皆様が親しまれ、わかりやすい議会だよりになるよう取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。

議会広報委員会

- 委員長 桜井和子
- 副委員長 藤咲美子
- 委員 飯村栄
- 委員 高橋裕子
- 委員 綿引静男
- 委員 金長秀範

飯村 栄 記